

1 概要

1-1 研究開発課題

研究開発課題名：〇〇〇〇〇〇〇〇の研究開発

研究開発項目 X □□□□□□□□□□□□□□□□の研究開発

提案課題：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

表紙に記述した名称と同一です。

1-2 要旨

- 研究開発の概要を 100 文字以上 300 文字以内に記述してください。特に、アピールしたい技術、手法、期待される成果等を記述してください（開発の成果がどのように将来的に社会実装され、社会経済の革新をもたらすかの観点についても含むようにしてください）。
- 採択された場合、公表文書に使用することがあります。対外的に公表して問題ない内容としてください。

1-3 研究開発の概要、目的、背景、必要性、提案の優位性等

- 提案技術に係る研究開発の目的、社会的現状や産業・社会ニーズ等の背景、目的を達成するために解決すべき課題、課題に対する対応策（＝研究内容）、必要性（国費で実施する必要性及びすぐに着手すべき緊急性も含む）、解決方法、社会経済への波及効果等の概要を簡潔に記述してください。
- 提案内容に関係する技術の国際競争状況、動向を説明した上で、提案者の技術の位置づけや優位性を客観的に記述してください。
- 上記の研究開発の目的、背景、必要性、提案の優位性等を客観的に説明できる根拠について記述し、その根拠となる資料も併せて添付してください。
- 研究計画書等にて機構が提示した研究内容の単純転記は不要です。ご提案の独自部分について記述してください。

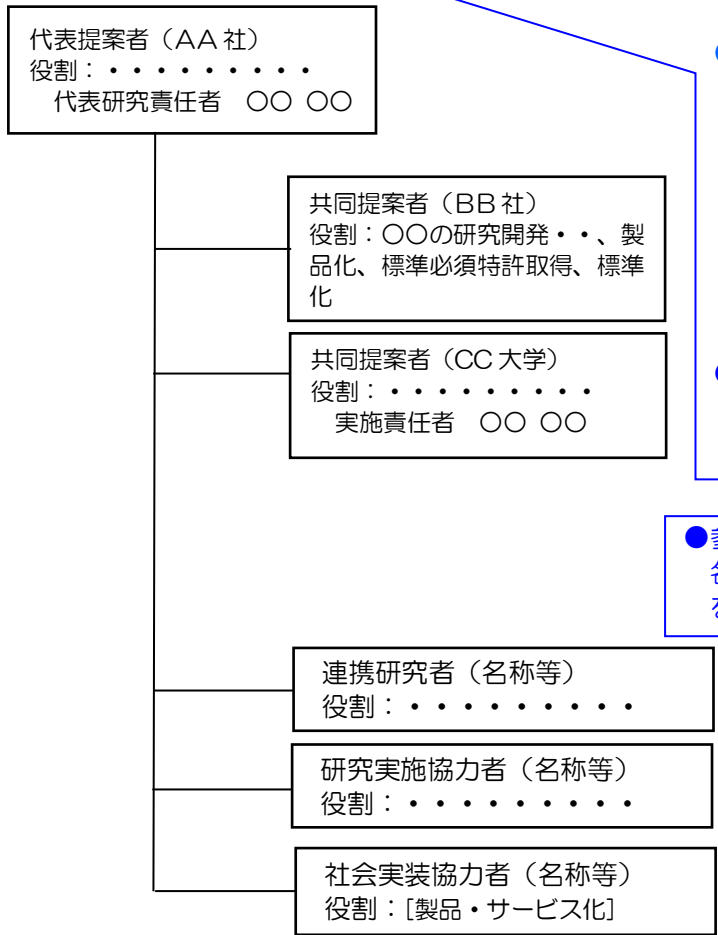
1-4 研究開発体制及び分担

1-4-1 研究開発体制

(1) 代表研究責任者

代表研究責任者： 所属・役職 氏名 ○○ ○○

(2) 研究開発体制及び社会実装に向けた体制



- 提案する研究開発の実施体制を簡潔に図示（樹形図等）してください。それぞれが体制の中で果たす役割を明確に記入してください。
- 1者で研究を実施する場合は、その旨を記入してください。
- 本研究開発成果の実用化の観点から、代表提案者、共同提案者、あるいは社会実装協力者等に民間企業の事業部門、製品・サービス化等に関連する部門等を含む体制としてください。また、B5G における将来の標準化などへのシナリオを想定し、学会、研究者など外部の協力を求めていく計画がある場合には、その計画を記載してください。
- 知財・標準化の体制が決まっている場合は、具体的に名称等（個人の場合は氏名及び所属等）を記載してください。

● 参画者が決まっている場合は、具体的に名称等（個人の場合は氏名及び所属等）を記入してください。

※代表提案者、共同提案者は機構と委託契約を締結しますが、連携研究者、研究実施協力者、社会実装協力者は機構との委託契約は締結しません。詳しくは事務マニュアル（令和4年度採択課題）をご参照ください。

1-4-2 研究開発項目別分担

研究開発項目 1 □□□□□□□□

- 研究開発項目 1-a) ○○○○○○○○○ (AA 社)
- 研究開発項目 1-b) ○○○○○○○○○ (BB 社)
- 研究開発項目 1-c) ○○○○○○○○○ (AA 社)

研究開発項目 2 □□□□□□□□

- 研究開発項目 2-a) ○○○○○○○○○ (AA 社)
- 研究開発項目 2-b) ○○○○○○○○○ (BB 社)
- 研究開発項目 2-c) ○○○○○○○○○ (CC 大学)
- 研究開発項目 2-d) ○○○○○○○○○ (AA 社)

●必要に応じて項目を追加してください。

1-4-3 代表提案者（代表研究責任者が所属する法人）による研究開発課題全体の運営管理

研究計画書「7.運営管理」及び応募要領「4.留意事項(2)研究開発実施体制について」の事項に留意して、具体的な取り組みを記述してください。

注) 代表提案者は、提案される研究開発の内容、実施の際の進捗管理、成果の取りまとめ等について、研究開発課題全般にわたり総括し責任を負う。

本注釈は削除しないようお願いします。

2 研究開発内容及びアウトカム目標

2-1 研究開発課題全体の内容

- 研究計画書を踏まえ、研究開発の全体の内容に関して、研究開発体制において、B5Gに求められている機能を実現する上で中核となり得る技術について、単独あるいは共同でどのように開発していくのか、共同提案の場合は各者の強みと研究開発の役割等が分かるように記述してください。
- 3で記載するアウトプット目標については、本研究開発期間中の各年度の研究開発における直接的な成果、例えば、論文発表、特許出願、規格原案の提出などに関する目標を想定してください。
2で記載するアウトカム目標については、そのアウトプットが活用されてもたらされる社会・経済的な効果、例えば、本研究開発課題終了後、提案者の継続した取組等による製品、サービス等の実用化、国際標準化の実現など、社会経済活動において生み出される価値の側面に関する目標を想定してください。

2-2 実用化等に係るアウトカム目標

(1) アウトカム目標と社会経済的インパクト

- 本委託研究は、2030年頃のB5G導入に向けて、B5Gに求められる機能を実現する上で中核となり得る技術について確立し、実用化を目指すものです。研究計画書を参考にして、2030年までの実用化に向けたアウトカム目標と社会経済的インパクトを具体的に記載してください。

(2) アウトカム目標の設定理由

- 本目標が国内外の既存のハードウェア、ソフトウェア、アプリケーション、技術（以下、「技術等」という）の性能や競争相手が開発中の技術等と比較して優れていることを数値あるいは定性的に説明すること等により上記目標を設定した理由を記述してください。
- 自組織の技術等だけでなく、既存の技術等が性能やコスト面等で向上していくことを考慮に入れた上で、本研究開発技術がB5Gの導入される2030年頃に優位性を持つと考えられる理由を記述してください。

(3) アウトカム目標を達成するまでのシナリオ・戦略

- 実用化等によりアウトカム目標の達成に至るシナリオ・戦略について、研究開発の中長期的・全体的な戦略とともに、国際展開やオープンイノベーションの推進という視点を十分に踏まえて、具体的な筋道を示しながら記載してください。

2-3 研究開発項目毎の内容及びアウトカム目標

(記入例)

I 研究開発項目1 XXXXXXXXX

担当：〇〇〇〇大学、〇〇〇株式会社、〇〇研究所
研究開発期間：〇年度～〇年度

1. 研究開発項目1の研究開発全体の内容

- 記入例を参考に、研究開発項目ごとに実施機関及び実施期間が明らかになるように記載してください。
- それぞれの研究開発項目には、研究の内容、課題、課題を達成する手段や方法を記載してください。

- 3-3に記載の、各項目の研究開発期間に合わせて記載してください。

・研究開発項目1-a) XXXXXXXXX

担当：〇〇〇〇大学
研究開発期間：〇年度～〇年度

・研究開発項目1-b) XXXXXXXXX

担当：〇〇〇株式会社、〇〇研究所
研究開発期間：〇年度～〇年度

2. 研究開発項目1による実用化等に係るアウトカム目標

(1) アウトカム目標と社会経済的インパクト

- 本委託研究は、2030年頃のB5G導入に向けて、B5Gに求められる機能を実現する上で中核となり得る技術について確立し、実用化を目指すものです。2030年までの実用化に向けたアウトカム目標と社会経済的インパクトを具体的に記載してください。

(2) アウトカム目標の設定理由

- 本目標が国内外の既存のハードウェア、ソフトウェア、アプリケーション、技術（以下、「技術等」という）の性能や競争相手が開発中の技術等と比較して優れていることを数値あるいは定性的に説明すること等により上記目標を設定した理由を記述してください。
- 自組織の技術等だけでなく、既存の技術等が性能やコスト面で向上していくことを考慮に入れた上で、本研究開発技術がB5Gの導入される2030年頃に優位性を持つと考えられる理由を記述してください。

(3) アウトカム目標を達成するまでのシナリオ・戦略

- 実用化等によりアウトカム目標の達成に至るシナリオ・戦略について、研究開発の中長期的・全体的な戦略とともに、国際展開やオープンイノベーションの推進という視点を十分に踏まえて、具体的な筋道を示しながら記載してください。

II 研究開発項目2 XXXXXXXXX

〔担当：〇〇〇〇大学、〇〇〇株式会社、〇〇研究所〕
〔研究開発期間：〇年度～〇年度〕

1. 研究開発項目2 の研究開発全体の内容

・研究開発項目2-a) XXXXXXXXX

〔担当：〇〇〇〇大学〕
〔研究開発期間：〇年度～〇年度〕

・研究開発項目2-b) XXXXXXXXX

〔担当：〇〇〇株式会社、〇〇研究所〕
〔研究開発期間：〇年度～〇年度〕

2. 研究開発項目2による実用化等に係るアウトカム目標

(1) アウトカム目標と社会経済的インパクト

- 記載要領はI 2. (1)と同じです。

(2) アウトカム目標の設定理由

●記載要領は I 2. (2) と同じです。

(3) アウトカム目標を達成するまでのシナリオ・戦略

●記載要領は I 2. (3) と同じです。

3 アウトプット目標及び研究開発実施計画

3-1 最終目標（アウトプット目標）

(1) 研究開発課題全体の目標

●研究計画書を参考にして、最終評価において客観的に評価できるマイルストーンとなる具体的な目標を定量的に記述した上でどのような技術を確立するのか等も具体的に記述してください。

(2) 最終目標の設定理由

●本目標が国内外の既存技術の性能や競争相手が開発中の技術性能と比較して優れていることを数値あるいは定性的に説明すること等により上記目標を設定した理由を記述してください。

(3) 各研究開発項目別の最終目標

●各研究開発項目別のアウトプット目標を記述してください。

研究開発項目 1 □□□□□□□□

• 研究開発項目 1-a) ○○○○○○○○

• 研究開発項目 1-b) ○○○○○○○○

• 研究開発項目 1-c) ○○○○○○○○

研究開発項目 2 □□□□□□□□

• 研究開発項目 2-a) ○○○○○○○○

- 研究開発項目 2-b) ○○○○○○○○
- 研究開発項目 2-c) ○○○○○○○○
- 研究開発項目 2-d) ○○○○○○○○

3-2 最終目標を達成するための研究開発実施計画

(1) 研究開発課題全体の研究開発実施計画

- 最終目標を達成するための方策、計画等の詳細を具体的に記述してください。内容を理解しやすいように必要に応じて図表も用いてください。
- 研究の方式・方法等において、その理論的背景や技術等について説明してください。それらが優れている点なども記述してください。
- 3-3 の研究開発実施計画マイルストーンに記述しきれない詳細情報も記述してください。
- 他の課題との統合実験やテストベッドを使用して実験等を行う場合は、それらについても具体的に記述してください。

(2) 研究開発項目別の研究開発実施計画

研究開発項目 1 □□□□□□□□

- 共同提案の場合は、代表提案者及び各共同提案者の担当する実施計画が明確になるよう記述してください。

- 研究開発項目 1-a) ○○○○○○○○
- 研究開発項目 1-b) ○○○○○○○○*
- 研究開発項目 1-c) ○○○○○○○○*

研究開発項目 2 □□□□□□□□

- 研究開発項目 2-a) ○○○○○○○○
- 研究開発項目 2-b) ○○○○○○○○*
- 研究開発項目 2-c) ○○○○○○○○*
- 研究開発項目 2-d) ○○○○○○○○*

3-3 研究開発実施計画マイルストーン

【例】研究開発期間として契約締結日から 2026 年度までを希望する場合

課題の研究開発期間に合わせて表を修正してください。

最終年度

初年度

研究項目	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	経費合計	担当
研究開発項目 1 □□□□□□□□							
• ○○○○○○○○	試作 3.5	評価 1.5	試験 1.5	連携実験 1.5		×	AA 社
• ○○○○○○○○	試験 2	仕様化 1	仕様化 1	仕様化 1		×	AA 社
• ○○○○○○○○	×	×	×	×		×	BB 社
研究開発項目 2 □□□□□□□□							
• ○○○○○○○○	×	×	×	×	x	×	AA 社
• ○○○○○○○○	×	×	×	×		×	BB 社
• ○○○○○○○○	×	×	×	×		×	CC 大学
• ○○○○○○○○	×	×	×	×	x	×	AA 社
総額	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	

- 注) 1 経費については、研究開発項目毎に間接経費及び消費税を含む金額を記載してください。各年度に要する経費を記載してください。
2. 研究開発項目に対して、それぞれの研究計画のフェーズが明確にわかるように、詳細に記載してください。（数年間に渡って矢印を引き「基本設計・詳細設計・評価」とするような、区切りが漠然とした記載は避けてください。）
3. 継続評価や Beyond 5G 研究開発促進事業の後年度予算の状況等により、研究開発期間や各年度の研究開発予算を変更する場合があります。
4. 各フェーズの開始時期と終了時期を明確にしてください。

3-4 年度目標（アウトプット目標）

(1) 研究開発課題全体の年度目標

• 2022 年度
○○○○○○○○○

• 2023 年度
○○○○○○○○○

• 2024 年度
○○○○○○○○○

• 2025 年度
○○○○○○○○○

• 2026 年度
○○○○○○○○○

●各年度の目標を記述してください。

(2) 各研究開発項目別の年度目標

• 2022 年度
研究開発項目 1 □□□□□□□□

●各研究開発項目別の年度目標を記述してください。

• 研究開発項目 1-a) ○○○○○○○○

• 研究開発項目 1-b) ○○○○○○○○*

• 研究開発項目 1-c) ○○○○○○○○*

研究開発項目 2 □□□□□□□□

• 研究開発項目 2-a) ○○○○○○○○

• 研究開発項目 2-b) ○○○○○○○○*

• 研究開発項目 2-c) ○○○○○○○○*

• 研究開発項目 2-d) ○○○○○○○○*

• 2023 年度
研究開発項目 1 □□□□□□□□

• 研究開発項目 1-a) ○○○○○○○○

• 研究開発項目 1-b) ○○○○○○○○*

• 研究開発項目 1-c) ○○○○○○○○*

研究開発項目 2 □□□□□□□□

• 研究開発項目 2-a) ○○○○○○○○

• 研究開発項目 2-b) ○○○○○○○○*

• 研究開発項目 2-c) ○○○○○○○○*

• 研究開発項目 2-d) ○○○○○○○○*

• 2024 年度（上記同様に記載）

• 2025 年度（上記同様に記載）

• 2026 年度（上記同様に記載）

3-5 データ等の取り扱いに関する計画

(1) パーソナルデータ（個人情報を含む）
（記述例）

本研究では、××の検証のために、××データを入手するが、その際、住所、氏名、性別など、特定の個人が識別できる情報が含まれている。このため、当該データについては、他の研究データと別のサーバーに保管し、××を施すことにより、×××とすることで、外部への漏えいがないよう、厳重な管理を行う。また、当該データを委託研究以外の研究や、第三者への提供は行わない。さらに、研究においては、×××をデータに施すことにより特定の個人が識別できない形に変換した上で、研究に活用する。研究終了後に当該データを破棄する。

また、本研究では、××の構築のために、××を入手するが、当該データには、氏名、年齢、性別、住所、被験者の顔データなどの直接的なデータは含まれてはいないものの、端末のMACアドレスが含まれており、当該アドレスを解析することによって、利用者が特定される可能性がある。このため、MACアドレスが利用者にひもづかない形で研究を実施すると共に、当該データについては、第三者へ提供しない。研究終了後に当該データを破棄する。

- パーソナルデータ（個人情報を含む）を取り扱う場合には、別紙 11 パーソナルデータチェックリストを提出してください。
- パーソナルデータ（個人情報を含む）を取り扱わない場合は、取り扱わないことを記述してください。

● 以下のものが、パーソナルデータの例です。

- カメラ・センサデータ（人を撮影したもの）
 - ・ カメラによる施設利用者の映像データ
 - ・ ドローン搭載カメラから撮影された映像データ
 - ・ ロボット制御目的で得られたカメラ・センサデータ
 - ・ MRI/内視鏡/CT 等により得られた映像・画像データ
- 端末に関するデータ
 - ・ 端末ID（IP アドレス、MAC アドレス等）
 - ・ アプリインストールID
 - ・ アプリ利用時刻
 - ・ アプリへの入力情報（文章や図形）
- 位置データ
 - ・ 携帯電話位置情報
 - ・ GPS データ
 - ・ 車プローブ情報
 - ・ アプリへの入力情報（文章や図形）
 - ・ 住宅地図情報
 - ※事業者が販売するものも含む。
- 生体データ
 - ・ 音声データ（スマートフォンによる音声収録）
 - ・ 音声データの書き起こしテキスト
 - ・ 指尖脈波データ
 - ・ 脳活動データ
 - ・ 人体の形状に関する測定データ
 - ・ 機械の遠隔操作時における人の行動計測データ
 - ・ カルテ・処方箋
- 心理計測データ
 - ・ 知覚・認知に関する心理データ（アンケート等）
 - ・ 立体映像視聴における疲労感等の主観評価データ
- データの分析により得られるデータ
 - ・ 特徴量情報（映像情報を処理して得られる個人識別に利用可能な情報など）
 - ・ 移動経路情報（個人が、いつ、どこを動いたかを表す情報）
 - ・ 音声認識結果
 - ・ 機械翻訳結果
 - ・ 心身リズムの推定結果
- 被験者に関する情報
 - ・ 氏名、生年月日、出身地域、年代、性別、収録地域
 - ・ 施設・設備利用ログデータ
- WEB関係のデータ
 - ・ Web テキスト
 - ・ Web 音声データ（動画内の音声トラック含む）
 - ・ Web 画像データ
 - ・ Twitter へ投稿されたツイート情報
 - ・ Twitter アーカイブデータ

4 当該技術又は関連技術の研究開発実績、保有設備・知的財産等の提案遂行・目標達成能力

4-1 研究開発の実績

- 当該研究開発課題に対して提案者が受託するに相応しい理由を説明してください。国内外における研究開発の現状を示すとともに、その中での提案者の位置づけや研究開発状況についても記述してください。
- 提案が採択となった後も自らが実施する類似研究を継続する場合には、その研究概要、目標等を示して、委託研究と明確に区別できることを説明してください。

4-2 これまでの成果

- 提案者が当該研究開発課題の遂行に資する関連・類似の研究開発を既に行っている場合、或いは過去に行った経験のある場合には、その受託研究等や外部発表（研究論文、学会発表、標準化提案、特許、表彰等）について、表形式などで具体的に記述してください。
- 参考となる資料をあわせて添付してください。

4-3 提案の実施に資する保有設備・装置等、保有知的財産、提案者の所属組織からのサポート等

- 本研究開発を進めるに当たって必要と考えられる設備・装置等、知的財産や技術シーズで提案者が保有しており活用できるもの、提案者の所属組織から受けられるサポートがあれば、具体的に記述してください。

4-4 当該提案を遂行し、目標を達成する能力

- 4-1 から4-3 も踏まえ、全ての提案者が提案内容を着実に遂行し、アウトカム目標・アウトプット目標を達成できる能力を有していることを具体的に説明してください。

4-5 本提案と関連性のある全ての研究開発の実施状況

- 他の資源配分機関が実施する公募型研究開発等において、本提案と関連性のある研究開発プロジェクトを実施している又は実施しようとして申請しているものがある場合であっても、重複申請を妨げませんが、予算の効率的な分配及び過度な重複を避ける観点から、記載していただくものです。
- 本研究開発提案と関連性のある全ての研究開発プロジェクトについて、それぞれの公的資金名、課題名、研究開発期間、金額、研究代表者、研究開発概要（300字以内）を記載してください。また、それぞれの研究開発プロジェクトについて、本提案との相違点、あるいは重複点（シナジー効果の説明）を記載してください。

5 成果の展開・普及

5-1 研究の成果展開

(1) 成果の展開・普及の計画

- 社会実装による国民生活や経済社会への波及効果等の観点から、委託期間中及び終了後に、本研究成果をどのような方策で活用するかについて、以下の記述ポイントを参考に分かり易く、具体的に記述してください。なお、研究開発成果の実用化の観点から、代表提案者、共同提案者あるいは社会実装協力者等の民間企業の事業部門、製品・サービス化等に関連する部門等と協力して記載してください。
 - 外部発表など研究開発成果の情報発信をどのように行う計画か
 - 製品化等、成果の産業応用についてどのような見通し（実用化へ向けての課題の検討、事業化への具体的な道筋等）を立て計画しているか
 - その他
- 5G以降では、単に1つの製品を開発するというのではなく、1社では構築できない大規模なシステムの中の一部で自社の優位性を発揮するシステムを開発し、販売し、収益を上げなくてはならない厳しい時代に入っています。B5Gの実現のためにはこれまで以上に社会経済活動におけるエコシステム構築が重要になる中で、カーボンニュートラルをはじめSDGsをサポートするという社会的要請をB5Gを構築していく最大のモチベーションとして活かすべき極めて高度な戦略が求められる時代になっています。

そのような対応には、常に、組織内の体制の変化や組織外との連携をダイナミックに行わなければならない。その判断は、組織トップ等の上層部でないとできません。組織トップ等の上層部まで含めた必要な情報共有、情報収集の精密化、組織内外の強力な連携（特に、代表提案者、共同提案者あるいは社会実装協力者等の民間企業の事業部門、製品・サービス化等に関連する部門等との連携）、さらにグローバルフォーラムを通じた情報発信とグローバルマーケット構築の先導への主体的関与が強く求められます。

成果の展開・普及を図るに当たって、このような各項目において、提案者の組織において、どのような対応が取れるのか、具体的に記述してください。

(2) 知的財産活動の計画

- 以下の記述ポイントについて分かり易く、具体的に記述してください。
- B5Gの実用化や事業化を見据えてどのような分野のどのような知的財産の取得が期待できる計画か。
 - 当該知的財産のユースケースは何か。
 - 何件程度の特許出願を目指す計画か。
 - 取得した特許等知的財産権をどのように活用する計画か。
 - その他

(3) 標準化活動の計画

① 基本的な方針

- B5Gの実現に向けてどのような分野のどのような標準の策定が期待できるか。
- 標準化に向けてどのような対応をとる計画か。（別紙9も用いながら、連携先や時期についても具体的に記述。）
- 標準化によりどのような市場の広がりが期待されるか。
- 実用化や事業化を見据えた知財戦略と標準化戦略をどのように一体的に推進する計画か（オープン・クローズ戦略）。
- 何件程度の標準必須特許（mandatory/ optionalのSEP）を目指して、それぞれこの場でどのように標準化を目指す計画か。
- Optionalよりもmandatory（事実上mandatoryを含む）となるような標準必須特許（SEP）を獲得するためにどう対応するのか。
など
- 上記に関して、各年度においてどこまでできるのか、具体的に記述してください。

② 将来ビジョンを踏まえたバックキャストの標準化

我が国の標準化活動で強化すべきポイントの一つとして、従来は 3GPP をスタート点として標準化対応をしているため、現時点での標準規格を起点とし、その延長上で新たな標準化を捉えようとするため、長期レンジでの標準化対応が不十分であり、それが SEP 獲得率の向上につながっていない点が指摘されています。

グローバルベンダーは、グローバルフォーラムなどで構築される将来ビジョンを未来の形とし、そこと現時点とを繋ぐように将来動向を捉え、さらに年次進行で、将来ビジョンの高精度化と現時点の技術の進展とを内挿しながら将来に向けた標準化戦略を逐次更新し、そのなかで SEP への対応を実施していると考えられます。

一方で、我が国では、将来ビジョンからのバックキャストを踏まえた将来に向けた標準化戦略の構築がないことが問題と考えられます。

このような将来ビジョンからのバックキャストを踏まえた標準化活動に関して、どのような対応が取れるのか、具体的に記述してください。

③ 組織トップ等を含めた内外との強力な連携体制

5G 以降では、単に1つの製品を開発するというのではなく、1社では構築できない大規模なシステムの中の一部で自社の優位性を発揮するシステムを開発し、販売し、収益を上げなくてはならない厳しい時代に入っています。B5G の実現のためにはこれまで以上に社会経済活動におけるエコシステム構築が重要になる中で、カーボンニュートラルをはじめSDGsをサポートするという社会的要請を B5G を構築していく最大のモチベーションとして活かすべき極めて高度な戦略が求められる時代になっています。

そのような対応には、常に、組織内の体制の変化や組織外との連携をダイナミックに行わなければならない、その判断は、組織トップ等の上層部でないとできません。

組織トップ等の上層部まで含めた必要な情報共有、情報収集の精密化、組織内外の強力な連携（特に、代表提案者、共同提案者あるいは社会実装協力者等の民間企業の事業部門、製品・サービス化等に関連する部門等との連携）、さらにグローバルフォーラムを通じた情報発信とグローバルマーケット構築の先導への主体的関与が強く求められます。

標準化活動を推進にするに当たって、このような各項目において、提案者の組織において、どのような対応が取れるのか、具体的に記述してください。

(4) 国際連携活動の計画

- 外国の民間企業、大学、アライアンス、コンソーシアム等との連携体制が構築できている又は計画している場合、どのような連携をとるのか、具体的に記述してください。

5-2 成果の発展性・普及性

● 当該研究分野等の進展及び科学技術の発展への貢献や、産業、科学技術、文化など、幅広い意味で社会に与えるインパクト・貢献についての取り組みを、具体的に記述してください。

5-3 展開・普及計画（マイルストーン）

- 本研究開発成果の社会実装に向けて、2及び3のアウトカム目標・アウトプット目標を踏まえて具体的な時期（目標）、体制、方策等を記述してください。なお、研究開発成果の実用化の観点から、代表提案者、共同提案者あるいは社会実装協力者等の民間企業の事業部門、製品・サービス化等に関連する部門等と協力して記載してください。

6 研究開発実施体制

6-1 研究開発実施に当たっての研究開発運営委員会等の設置

- 基幹課題については、提案者は研究開発課題を構成する複数の研究開発項目のうち、いずれか1つ又は複数の応募も可能であり、各研究開発項目の受託者が（同一の提案ではなく）異なる提案から採択される場合も想定されます。この場合は、研究計画書に掲げる研究開発課題の目標を達成するため、かつ、実用的な成果を創出するために、採択された受託者による共同研究体制又は研究協力体制を構築していただき、当該受託者間の調整を行うとともに、研究開発課題全体の取りまとめを行う者を決めていただきます。（異なる提案から受託者が採択された場合の代表研究者（代表研究責任者）の選定等）
- さらに、基幹課題は同一の研究開発課題において、研究開発の実施に当たり、関連する要素技術間の調整、成果の取りまとめ方等、研究開発全体の方針について幅広い観点から助言を頂くと共に、実際の研究開発の進め方について適宜指導を頂くための学識経験者、有識者等を含んだ研究開発運営委員会等を設置していただきます。
- 研究開発運営委員会等の体制、構成員等の設置方針を具体的に記述してください。
- なお、研究開発運営委員会の委員は採択後に調整させていただく場合があります。

7 各研究機関の研究員及び連絡先

7-1 研究員氏名

- 研究員は、研究の本質的な部分を行う者であり、提案者組織内において研究者として位置づけられている必要があります。補助員は、研究員の指示に従い委託業務（研究開発）の補助的作業を行う者であって、研究の本質的な部分を行う者ではありません。補助員は記入しないでください。
- それぞれの研究員の本研究開発提案における役割分担を明確に記載してください。
- エフォート率については、委託研究期間における研究員の全業務時間を100%とし、そのうち本研究開発の実施等に必要となる時間の配分率（%）を記入して下さい。

(1)AA 社（代表提案者）

氏名	所属・役職（職名）	研究実績（略歴）	本研究開発課題における役割分担及びエフォート率
【代表研究責任者】 ×× ××	××××××××	×××××××× ×××××××× ×××××××× ××××××××	×××××××× ×× ××%
×× ××	××××××××	×××××××× ×××××××× ×××××××× ××××××××	×××××××× ×× ××%
×× ××	××××××××	×××××××× ×××××××× ×××××××× ××××××××	×××××××× ×× ××%
×× ××	××××××××	×××××××× ×××××××× ×××××××× ××××××××	×××××××× ×× ××%

(2)BB 社（共同提案者）

氏名	所属・役職（職名）	研究実績（略歴）	本研究開発課題における役割分担及びエフォート率
【実施責任者】 ×× ××	××××××××	×××××××× ×××××××× ×××××××× ××××××××	×××××××× ×× ××%
×× ××	××××××××	×××××××× ×××××××× ×××××××× ××××××××	×××××××× ×× ××%
×× ××	××××××××	×××××××× ×××××××× ×××××××× ××××××××	×××××××× ×× ××%

(3) CC 大学（共同提案者）

氏名	所属・役職（職名）	研究実績（略歴）	本研究開発課題における役割分担及びエフォート率
【実施責任者】 ×× ××	××××××××	×××××××× ×××××××× ×××××××× ××××××××	×××××××× ×× ××%
×× ××	××××××××	×××××××× ×××××××× ×××××××× ××××××××	×××××××× ×× ××%
×× ××	××××××××	×××××××× ×××××××× ×××××××× ××××××××	×××××××× ×× ××%
×× ××	××××××××	×××××××× ×××××××× ×××××××× ××××××××	×××××××× ×× ××%
×× ××	××××××××	×××××××× ×××××××× ×××××××× ××××××××	×××××××× ×× ××%

必要数、記入枠を追加してください。

(注) 非居住者を研究員とする場合には外為法に基づく手続きを行う必要があることをご留意ください。経済産業省などのウェブサイト、安全保障貿易管理の詳細が公表されていますので詳しくはそちらをご参照ください。

(経済産業省：安全保障貿易管理（全般） <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/>)

7-2 代表研究責任者、実施責任者及び連絡担当者 連絡先

“e-Rad 登録機関コード”をお持ちの場合は記入してください。
(共同提案者についても同様です)

(1)AA 社（代表提案者） e-Rad 研究機関コード：
URL：

【代表研究責任者】

所属 ○○部××課
 役職名 ○○○○
 氏名 ○○ ○○
 住所 〒xxx-xxxx ○○都/道/府/県○○市○○
 TEL ×××××××-×××× 内線○○○○
 TEL (携帯) ××××××××-××××
 E-mail ××××××@××××

機関の組織概要を掲載した Web サイトの URL を記入してください。
(共同提案者についても同様です)

【連絡担当者】

所属 ○○部××課
 役職名 ○○○○
 氏名 ○○ ○○
 住所 〒xxx-xxxx ○○都/道/府/県○○市○○
 TEL ×××××××-×××× 内線○○○○
 TEL (携帯) ××××××××-××××
 E-mail ××××××@××××

- 評価及び審査の過程で、代表研究責任者、実施責任者、担当者に機構から質問等を行うことがあります。短期間での回答をお願いすることとなりますので、それに対応できる方を連絡担当者としてください。また、連絡の便を考慮し、可能であれば携帯電話番号を併記してください。また、各者の経理責任者も記載してください。
- 共同提案の場合は原則として代表提案者に連絡しますが、全ての共同提案者を記載してください。

【経理責任者】

所属 ○○部××課
 役職名 ○○○○
 氏名 ○○ ○○
 住所 〒xxx-xxxx ○○都/道/府/県○○市○○
 TEL ×××××××-×××× 内線○○○○
 TEL (携帯) ××××××××-××××
 E-mail ××××××@××××

経理責任者は、委託研究の経理全般を管理する責任者としてください。

研究員が経理責任者を兼ねることは原則としてできません。

(2)BB 社（共同提案者） e-Rad 研究機関コード：
URL：

【実施責任者】

所属 ○○部××課
 役職名 ○○○○
 氏名 ○○ ○○
 住所 〒xxx-xxxx ○○都/道/府/県○○市○○
 TEL ×××××××-×××× 内線○○○○
 TEL (携帯) ××××××××-××××
 E-mail ××××××@××××

【連絡担当者】

所属 ○○部××課
 役職名 ○○○○
 氏名 ○○ ○○
 住所 〒xxx-xxxx ○○都/道/府/県○○市○○

TEL ×××××××-×××× 内線○○○○
 TEL（携帯） ××××××××-××××
 E-mail ××××××@××××

【経理責任者】

所属 ○○部××課
 役職名 ○○○○
 氏 名 ○○ ○○
 住 所 〒xxx-xxxx ○○都／道／府／県○○市○○
 TEL ×××××××-×××× 内線○○○○
 TEL（携帯） ××××××××-××××
 E-mai ××××××@××××

(3)CC 大学（共同提案者） e-Rad 研究機関コード：

URL：

【実施責任者】

所属 ○○部××課
 役職名 ○○○○
 氏 名 ○○ ○○
 住 所 〒xxx-xxxx ○○都／道／府／県○○市○○
 TEL ×××××××-×××× 内線○○○○
 TEL（携帯） ××××××××-××××
 E-mai ××××××@××××

【連絡担当者】

所属 ○○部××課
 役職名 ○○○○
 氏 名 ○○ ○○
 住 所 〒xxx-xxxx ○○都／道／府／県○○市○○
 TEL ×××××××-×××× 内線○○○○
 TEL（携帯） ××××××××-××××
 E-mail ××××××@××××

【経理責任者】

所属 ○○部××課
 役職名 ○○○○
 氏 名 ○○ ○○
 住 所 〒xxx-xxxx ○○都／道／府／県○○市○○
 TEL ×××××××-×××× 内線○○○○
 TEL（携帯） ××××××××-××××
 E-mai ××××××@××××